

(2020年度)

## 2 世界史問題 (60分)

(この問題冊子は24ページ，4問である。)

### 受験についての注意

1. 試験監督者の指示があるまで，問題冊子を開いてはならない。
2. 試験開始前に，試験監督者から指示があったら，解答用紙の右上の番号が自分の受験番号と一致することを確認し，所定の欄に氏名を記入すること。次に，解答用紙の右側のミシン目にそって，きれいに折り曲げてから，受験番号と氏名が書かれた切片を切り離し，机上に置くこと。
3. 試験監督者から試験開始の指示があったら，この問題冊子が，上に記したページ数どおりそろっていることを確かめること。
4. 筆記具は，HかFかHBの黒鉛筆またはシャープペンシルに限る。万年筆・ボールペンなどを使用してはならない。時計に組み込まれたアラーム機能，計算機能，辞書機能を使用してはならない。また，スマートウォッチなどのウェアラブル端末を使用してはならない。
5. 解答は，解答用紙の各問の選択肢の中から正解と思うものを選んで，そのマーク欄をぬりつぶすこと。
6. マークをするとき，マーク欄からはみ出したり，白い部分を残したり，文字や番号，○や×をつけたりしてはならない。また，マーク箇所以外の部分には何も書いてはならない。
7. 訂正する場合は，消しゴムでていねいに消すこと。消しきずはきれいに取り除くこと。
8. 解答用紙を折り曲げたり，破ったりしてはならない。
9. 試験監督者の許可なく試験時間中に退場してはならない。
10. 解答用紙を持ち帰ってはならない。
11. 問題冊子は必ず持ち帰ること。

1 次の設問(I, II)に答えなさい。

設問 I 次の文章を読んで、後の問(1～15)に答えなさい。解答は選択肢(a～d)から、最も適切なものを1つ選びなさい。

前漢は、第七代皇帝武帝の支配下で最盛期をむかえた。前代の(①)の時に、諸侯王が大規模な反乱をおこした経験から、諸侯王の抑圧策を進め、事実上<sup>(ア)</sup>の郡県として支配し、中央集権体制を強化した。そして、(②)の献言により、五經博士をおき、それぞれ専門の経学を太学で教えるようにし、また、徳が<sup>(イ)</sup>あって優秀な人材を選んで、地方長官が中央に推薦する(③)とよばれる官僚任命制度を設けるなど、儒教を王朝の重要な支配理念とした。対外的には、かつて前200年に高祖が、白登山で(④)に包囲されてやぶれたこともある強敵の匈奴と、全面戦争を開始した。匈奴を挟撃するために、張騫を(⑤)に派遣したことが契機となり、(⑥)との同盟関係が成立し、また良馬の必要性から、汗血馬の産地(⑦)に將軍李広利を派遣した。將軍たちの必死の活躍の結果、匈奴を西北地方から駆逐した。一方、朝鮮半島に(⑧)が建てた朝鮮を滅ぼして、4郡<sup>(ウ)</sup>を設置し、中国南部からベトナム北部に趙佗が建てた(⑨)を征服して、9郡<sup>(エ)</sup>を設置し、それぞれ郡県制による支配に組み込んだ。経済面では、新たに青銅銭の五銖銭<sup>(オ)</sup>を大量に発行して、貨幣制度を安定させるとともに、桑弘羊らの政策を用いて専売制<sup>(カ)</sup>を施行し、また均輸・平準などの経済政策を実施した。

問1 空欄①に入る皇帝は誰か。

- a 景帝    b 昭帝    c 文帝    d 恵帝

問2 下線部(ア)について、当てはまるのは誰か。

- a 韓王    b 魯王    c 楚王    d 齊王

問3 空欄②に入る人物は誰か。

- a 鄭玄    b 張衡    c 董仲舒    d 馬融

問4 下線部(イ)に含まれないものはどれか。

- a 『書経』    b 『春秋』    c 『論語』    d 『礼記』

問5 空欄③に入る語は何か。

- a 郷拳里選    b 九品官人法    c 郷試    d 郷官制

問6 空欄④に入る人物は誰か。

- a 呼韓邪单于    b 老上单于    c 軍臣单于    d 冒頓单于

問7 空欄⑤に入る語は何か。

- a 大夏    b 突厥    c 大月氏    d 柔然

問8 空欄⑥に入る語は何か。

- a 鮮卑    b 烏孫    c 月氏    d 高車

問9 空欄⑦に入る語は何か。

- a オルドス    b ホータン    c フェルガナ    d カシミール

問10 空欄⑧に入る人物は誰か。

- a 衛満    b 武王    c 箕子    d 社崙

問11 下線部(ウ)について、4郡に入らないのはどれか。

- a 玄菟    b 臨屯    c 真番    d 帯方

問12 空欄⑨に入る語は何か。

- a 越    b 越南    c 安南    d 南越

問13 下線部(エ)について、9郡に入らないのはどれか。

- a 日南    b 扶南    c 南海    d 交趾

問14 下線部(オ)の使用が廃止された時の王朝はどれか。

- a 後漢    b 宋    c 唐    d 晋

問15 下線部(カ)の専売制について、専売品ではないのはどれか。

- a 鉄    b 酒    c 塩    d 茶

設問Ⅱ 次の文章(A～D)を読んで、後の問(1, 2)に答えなさい。

A 1921年7月、コミンテルンの指導のもと、**地名(ア)**で中国共産党が結成された。初代委員長は**人物①**が選ばれたが、彼は後にトロツキーの思想に共鳴して、コミンテルンを批判したため、党を除名された。

B 1927年1月、北伐で**地名(イ)**を占領した国民政府は、北伐を推進する必要から、都を**地名(ウ)**から**地名(イ)**に遷した。この政府は主に共産党と国民党左派からなり、主席には**人物②**が就任した。**人物③**がひきいる**地名(エ)**の政府と対立したが、経済的にも孤立を深め、7月には共産党との分離を宣言し、9月には**地名(エ)**の政府に合流した。

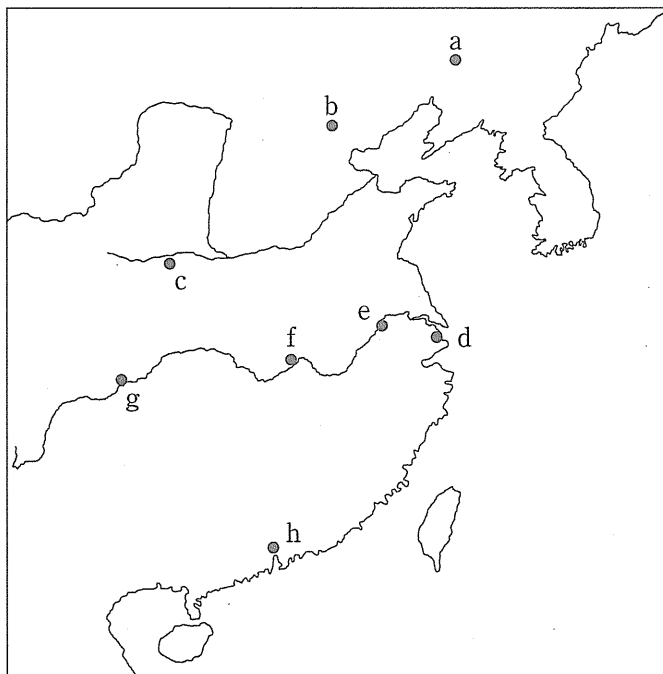
C 1927年4月、北伐中の**人物③**は、**地名(ア)**で反共クーデタをおこし、多数の共産黨員や労働者を殺害した。クーデタ事件の6日後、**人物③**は**地名(エ)**に国民政府を樹立した。

D 1936年12月、**人物④**らは**地名(オ)**で**人物③**を監禁し、内戦停止と抗日戦を要求した。**人物③**は当初これを拒否したが、**人物⑤**が解決に努力し、その説得に応じた。この事件は、翌年の第2次国共合作によって成立した抗日民族統一戦線結成の契機となった。

問1 太字で記した人物(①～⑤)はそれぞれ誰か。選択肢(a～h)から最も適切なものを1つ選びなさい。

- a 汪兆銘    b 張学良    c 毛沢東    d 陳独秀    e 蔣介石  
f 李大釗    g 周恩来    h 段祺瑞

問2 太字で記した地名(ア～オ)は、地図上のどこにあたるか。地図上の選択肢(a～h)から最も適切なものを1つ選びなさい。



**2** 次の文章を読み、問(1～3)に答えなさい。

20世紀前半のインドでは激しい独立運動が展開された。第一次世界大戦期に国内の産業が発展するなか、民族資本家が成長し、また工場労働者も増え、彼らの支持を受けた( 1 )が政治勢力を強めた。イギリスは戦争協力の見返りに戦後

のインドの自治を約束していたが、実際は( 2 )を施行して、令状なしの逮捕や裁判を経ない投獄などを合法化し独立運動を弾圧した。これに対する抗議はガ<sup>(イ)</sup>ンディーの指導のもとに展開され、その代表的なものがサティヤグラハ運動<sup>(ウ)</sup>だった。つづいて1929年に( 1 )がラホールで開催した大会では、ネルーらが主張したプールナ=スワラージ<sup>(エ)</sup>の要求が決議された。

翌1930年、ガンディーは大規模な民衆運動である( 3 )を展開して、イギリス統治に対するインド人の強い反発を国内外に示した。イギリスは英印円卓会議を開催してインド側の懐柔を目指したが、成果はあまり見られず、1935年には各州の自治を認める( 4 )を施行した。( 1 )は引き続き幅広い支持を得て独立運動を進めたが、( 5 )の指導のもとでムスリムの利害を主張した全インド=ムスリム連盟と対立するようになった。

第二次世界大戦後は両者の対立がいつそう深まり、その結果、( 6 )年に( 7 )が多数派を占めるインドと、( 8 )が多数派を占めるパキスタン<sup>(オ)</sup>に分離して独立するに至った。その際、カシミール地方では( 8 )が住民の多数を占めたが、藩王がインドへの帰属を表明したため、そのことが原因となって2回にわたる( 9 )が生じた。また、同地方では中国<sup>(カ)</sup>との国境紛争も生じた。一方、セイロン<sup>(キ)</sup>は1948年にイギリスから独立し、冷戦下で非同盟中立を維持しただけでなく、1954年の( 10 )会議ではアジアの平和構築を積極的に進めていくことを表明した。この会議にはセイロンのほか、インド、パキスタン、ビルマ(ミャンマー)、および( 11 )の5カ国首脳がインドシナ戦争の早期解決や、1955年にバンドンで開催されることになった( 12 )の準備推進を宣言した。<sup>(ク)</sup>

問1 空欄(1~12)に入る最も適切な語を、選択肢(a~d)から1つ選びなさい。

- (1) a インド人民党      b インド国民会議      c インド民衆会議  
d インド共産党
- (2) a ローラット法      b ベンガル分割令      c 十四カ条  
d 治安維持法

- (3) a 「公民権運動」    b 「五・三〇運動」    c 「塩の行進」  
 d 「ヒラーファト運動」
- (4) a (改正)インド統治法    b (改正)インド議会法  
 c (改正)インド自治法    d (改正)インド独立準備法
- (5) a アンベードカル    b ミドハト=パシヤ  
 c ムハンマド=アリー    d ジンナー
- (6) a 1946    b 1947    c 1948    d 1949
- (7) a 仏教徒    b ムスリム    c キリスト教徒  
 d ヒンドゥー教徒
- (8) a ムスリム    b シク教徒    c ヒンドゥー教徒    d 仏教徒
- (9) a カシミール戦争    b インド=パキスタン戦争  
 c ビアフラ戦争    d インド大反乱
- (10) a デリー    b ゴア    c パンジャーブ    d コロンボ
- (11) a インドネシア    b タイ    c ネパール    d 中国
- (12) a 非同盟諸国会議    b パグウォッシュ会議  
 c アジア=アフリカ会議    d アジア非同盟諸国会議

問2 下線部(ア～ク)について、以下の問いに答えなさい。

(1) 下線部(ア)に関する説明文として誤っているものを、選択肢(a～d)から1つ選びなさい。

- a この戦争は基本的にドイツとオーストリアを中心とする同盟国側と、イギリスとフランス、ロシアを中心とする協商国側との戦いであった。
- b この戦争でオスマン帝国は同盟国側に加わった。
- c この戦争は総力戦となり、交戦国の国内の経済は統制を受けた。
- d アメリカは1917年に参戦し、タンネンベルクの戦いでドイツ軍をやぶった。

- (2) 下線部(イ)に関する説明文として正しいものを、選択肢(a～d)から1つ選びなさい。
- a 「インド独立の父」と呼ばれ、熱心な社会主義者としても知られた。
  - b 弁護士として南アフリカで主に黒人の権利のためにたたかった。
  - c 独立直前にムスリムの急進派によって暗殺された。
  - d 不可触民への差別解消にも積極的に取り組んだ。
- (3) 下線部(ウ)の日本語訳として最も適切なものを、選択肢(a～d)から1つ選びなさい。
- a 「真理の堅持」に基づく非暴力・無抵抗運動
  - b 「真理の堅持」に基づく非暴力・不服従運動
  - c 「不殺生」の考えに基づく自治獲得運動
  - d 「不殺生」の考えに基づく民族解放運動
- (4) 下線部(エ)の日本語訳として最も適切なものを、選択肢(a～d)から1つ選びなさい。
- a 自治権獲得    b 議会設置    c 完全独立    d 民族差別解消
- (5) 下線部(オ)について、このときの状況の説明として正しいものを、選択肢(a～d)から1つ選びなさい。
- a 国土は東西に分かれ、東パキスタンは1971年に独立してバングラデシュとなった。
  - b 国土は東西に分かれ、西パキスタンはベンガル地方に位置した。
  - c 国土は東西に分かれ、東パキスタンはパンジャブ地方に位置した。
  - d 国土は東西に分かれ、西パキスタンはビルマ(ミャンマー)と国境を接した。
- (6) 下線部(カ)について、1950年代の状況の説明として誤っているものを、選択肢(a～d)から1つ選びなさい。
- a 毛沢東を主席とする中華人民共和国の建国が宣言された。
  - b 朝鮮戦争で朝鮮民主主義人民共和国側に義勇軍を送った。
  - c 中ソ友好同盟相互援助条約を締結した。
  - d 「大躍進政策」を実施したが失敗した。



- (7) 下線部(キ)について、この国の現在の名称と、国民の過半数を占める宗教名の組み合わせとして正しいものを、選択肢(a～d)から1つ選びなさい。
- a モルディヴ、仏教
  - b スリランカ、ヒンドゥー教
  - c スリランカ、仏教
  - d モルディヴ、ヒンドゥー教
- (8) 下線部(ク)に世界で起きた出来事として正しいものを、選択肢(a～d)から1つ選びなさい。
- a 朝鮮戦争の休戦協定が結ばれた。
  - b アルジェリアが独立した。
  - c エジプトがスエズ運河の国有化を宣言した。
  - d ワルシャワ条約機構が結成された。

問3 インドに関して、以下の問いに答えなさい。

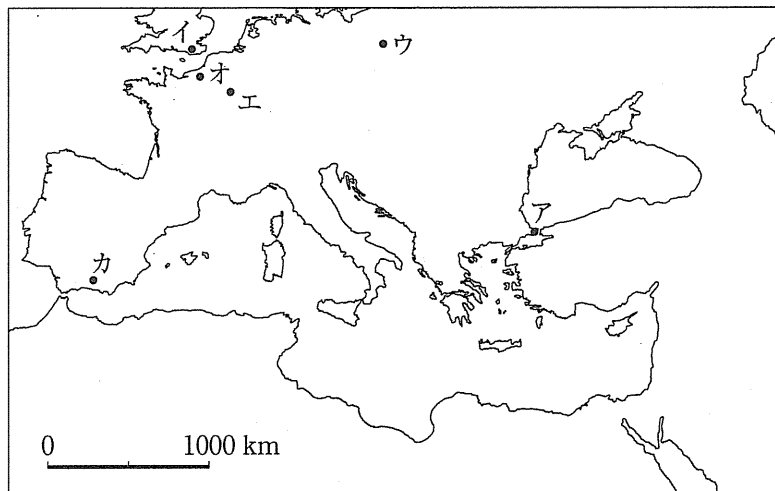
- (1) 1998年に核実験をおこなった際の政権政党の名称と、その特徴の組み合わせで正しいものを、選択肢(a～d)から1つ選びなさい。
- a インド人民党、ヒンドゥー至上主義
  - b インド国民会議、政教分離
  - c インド人民党、社会主義
  - d インド国民会議、多民族主義
- (2) 古代において栄えた国や王朝の説明文として誤っているものを、選択肢(a～d)から1つ選びなさい。
- a マウリヤ朝は前317年ころ、チャンドラグプタによってたてられた。
  - b クシャーナ朝は2世紀のアショーカ王のときに最大版図を築いた。
  - c ガンダーラではギリシア式彫像の影響を受けた仏像がつくられた。
  - d グプタ朝の時代にヒンドゥー教がインド固有の宗教として確立した。

(3) 古代インドの宗教や文化の説明として正しいものを，選択肢(a～d)から1つ選びなさい。

- a 8世紀から13世紀までつづいたヒンドゥー国家の分立抗争時代に，カースト(ジャーティ)制度が確立した。
- b 南インドでは7世紀ころ，仏教の影響を強く受けたバクティ運動が広がった。
- c グプタ朝時代には中国からゼロの概念を受け入れ，それに伴いインド数字や10進法が普及した。
- d ナランダー僧院はヒンドゥー教の宗教建築として知られる。

**3** 次の設問(I, II)に答えなさい。

設問I 5世紀から15世紀までのヨーロッパにおける戦闘や戦争，紛争に関連した次の地図を見て，問(1～12)に答えなさい。解答は，選択肢(a～d)から最も適切なものを1つ選びなさい。

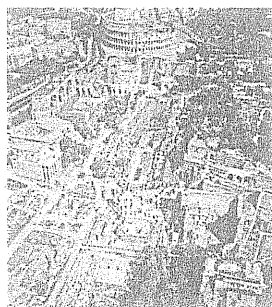


問1 アの都市について説明した以下の文のうち誤っているものはどれか。

- a この都市は紀元前7世紀にギリシア人の植民市として建設され、4世紀初頭には皇帝の名をとって改名された。
- b この都市の教会を総本山とするキリスト教の一派は、国家と深いかかわりを持ち、また、盛んにイコンを制作した。
- c 第4回十字軍は聖地回復という本来の目的を逸脱し、ヴェネツィアがこの都市を占領した。
- d この都市は15世紀半ばに戦乱に巻き込まれ、その際、ハギア・ソフィア聖堂も完全に破壊された。

問2 アの都市は「第二の  」とも呼ばれるが、  に入る都市に関連した画像はどれか。

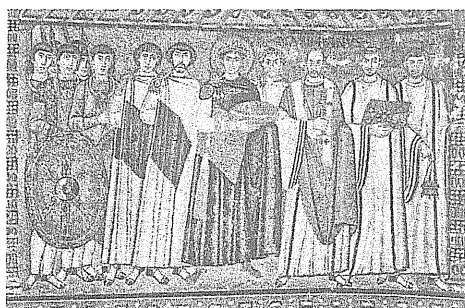
a



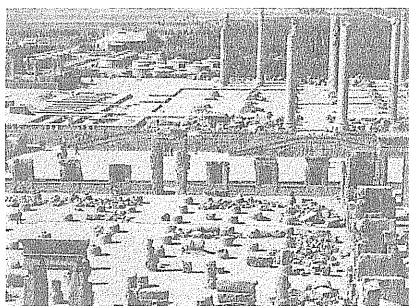
b



c



d



問3 イの地で行われた戦闘と無関係な語はどれか。

- a ノルマンディー公
- b デーン人
- c 征服王
- d アングロ＝サクソン

問4 イの戦闘が行われた11世紀のヨーロッパの状況の説明として誤っているものはどれか。

- a ハインリヒ4世とグレゴリウス7世が叙任権をめぐる抗争を展開した。
- b 巡礼が盛んに行われ、ロマネスク様式の建築が南フランスやイタリアから西欧各地に広がった。
- c ベネディクトゥスが清貧・純潔・服従を志向する戒律を定めた。
- d ベーメン(ボヘミア)王国が神聖ローマ帝国に編入された。

問5 ウの地で行われた戦闘の説明として正しいものはどれか。

- a 東方の遊牧騎馬民族に対しヨーロッパ勢力は敗北を喫し、この戦いの後には、ヴォルガ川流域に遊牧国家が建てられた。
- b 宮宰に率いられた軍隊がイスラーム勢力を撃退した戦いであり、以後カロリング家が台頭した。
- c アナトリアに進出したセルジューク朝がビザンツ軍を撃破した。
- d 異教を信仰し、ガリアを中心とする王国を脅かしていた部族に対し、改宗と征服を求めて行われた戦闘である。

問6 ウの地で戦闘が行われていた頃、ヨーロッパで一般的でなかった戦法や武器、軍事組織はどれか。

- a 騎馬戦法
- b 攻城戦
- c 火砲
- d 宗教騎士団

問7 エの戦闘について、争った勢力の組み合わせとして正しいものはどれか。

- a 西ローマ帝国－アヴァール人
- b 東ローマ帝国－アヴァール人
- c 西ローマ帝国－フン人
- d 東ローマ帝国－フン人

問8 エの戦闘が行われていた頃の西ヨーロッパ世界の説明として正しいものはどれか。

- a イベリア半島に移動したブルグンド人は、最古の部族法を成立させた。
- b ヴァンダル人はガイセリック王の下でカルタゴの故地に国家を建設した。
- c オドアケルの下で東ゴート王国が発展した。
- d メロヴィング朝統治下のフランク王国では、巡察使が王国各地を巡回した。

問9 オの説明として正しいものはどれか。

- a 1346年、長弓隊の活躍によりイギリス軍がフランス軍を破った戦場。
- b 1347年以降、イギリス大陸領土として残った地。
- c 1356年、エドワード黒太子率いる軍隊が勝利を得た地。
- d 1429年に解放され、シャルル7世の戴冠が実現した都市。

問10 オでの戦闘を含む長期的英仏抗争と無関係なものはどれか。

- a フランドル地方    b ヴァロワ朝    c ギエンヌ(ギユイエンヌ)
- d 模範議会

問11 カの都市名として、正しいものはどれか。

- a トレド    b バルセロナ    c グラナダ    d コルドバ

問12 カの都市の説明として、正しいものはどれか。

- a 8世紀半ば以降、後ウマイヤ朝の首都であった。
- b スペイン＝イスラーム建築を代表する歴史遺産がある。
- c 翻訳活動が盛んに行われ、12世紀ルネサンスを牽引した。
- d この都市を中心とする領域は、やがてアラゴン王国の一部となった。

設問Ⅱ ヨーロッパ中世末期の社会について述べた次の文章を読んで、問(1～8)に答えなさい。解答は、選択肢(a～d)から最も適切なものを1つ選びなさい。

14世紀から15世紀にかけてのヨーロッパ社会は、大きな変化を迎えた。それまで温暖だった気候が徐々に寒冷化したことや、ヨーロッパ内における開拓活動が落ち着いたことは、11世紀から13世紀の間、生産技術の向上や温暖化によって大幅に増加した人口に対する穀物供給を難しくした。加えて、頻繁に起きていた内乱や戦乱が農地を荒廃させたため、状況はさらに悪化した。

14世紀初頭には大規模な飢饉が発生し、十分な収穫を得られない農地は次々と放棄され、人々の栄養状態は低下した。14世紀半ばに大流行した黒死病はこれに追い討ちをかけた。黒死病による犠牲者数について結論は出ていないが、ボッカチオは『デカメロン』のなかで、「フィレンツェの中・下流の人々は1日1000人死んだ」と述べており、被害の甚大さをうかがい知ることができる。

この時期、社会秩序はあらたに構築され、教皇権や王権の在り方も変化した。教皇は、教会改革や十字軍のリーダーシップをとることによってその当時の国際社会で権威を強めていた。しかし14世紀以降生起した種々の歴史的事象は教皇の絶対的な権威を低下させ、教会に対しても露骨な批判が加えられるようになり、やがて宗教改革を招くこととなった。

これに対して、王権はイギリスやフランスを中心に著しく伸長した。王は直轄地を拡大させ、行政制度を刷新し、国内統一を推進した。また諸侯や大学で学んだ人材が側近として王を支えるようになり、中央集権的な国家体制が徐々に整えられた。しかし、それ以外の地域ではイギリスやフランスとは異なる国家形成が進行していた。

問1 下線部(ア)について、東方植民に関する説明として誤っているものはどれか。

- a 東方植民とは、12世紀以降、エルベ川以東のスラヴ人居住地に入植・開拓を行った活動である。
- b 13世紀以降は、ヨハネ騎士団がポーランド大公から特許状を得て植民活動の中心となった。
- c この活動の一環として12世紀に建てられたブランデンブルク辺境伯領は、のちにホーエンツォレルン家の領地となった。
- d 16世紀以降はエルベ川以東のドイツ諸地域で農場領主制(グーツヘルシャフト)がひろがり、ヨーロッパ西部に向けた穀物輸出の拠点となった。

問2 下線部(イ)について、11～13世紀における農村の説明として誤っているものはどれか。

- a 牛や馬の使役や鉄製農具の導入により耕地を深く耕せるようになり、土壌の有効活用が可能となって作物の生育が良くなった。
- b 農民は土地の所有者である領主の支配に服しており、他の土地への移動が厳しく禁じられていたが、都市へ流入するものも少なからずいた。
- c ロワール川流域を中心とした地域では耕地を三分して輪作を行う方法が普及し、安定した収穫が見込めるようになった。
- d 農村ではヒツジの飼育やワインの醸造なども盛んに行われたが、中世を通じて自家消費の水準を出ず、貨幣経済はほとんど発達しなかった。

問3 下線部(ウ)について、13～14世紀の内乱・戦乱の説明として、誤っているものはどれか。

- a 1381年に勃発したワット＝タイラーの乱は、ジョン＝ボールの思想的指導のもと、人頭税・農奴制の廃止を実現した。
- b イギリスの貴族であったシモン＝ド＝モンフォールは、大憲章(マグナ＝カルタ)を無視したヘンリ3世に対して反乱を起こし、1265年に議会を招集した。
- c 南フランス一帯に広まったカタリ派は、ローマ＝カトリック教会によって異端とされ、13世紀前半に大規模な討伐が行われた。
- d 1358年、フランスでは重税や傭兵の掠奪に苦しめられた農民が一揆を起こしたが、その名称にもなった「ジャック」は農民の蔑称である。

問4 下線部(エ)について、この作品が書かれた時期にあてはまる説明はどれか。

- a 神聖ローマ皇帝フリードリヒ2世がナポリに大学を創立した。
- b マルコ＝ポーロが口述筆記によって『世界の記述(東方見聞録)』を著した。
- c 教皇庁がローマからアヴィニオンに移転していた。
- d 海上交易の覇権を掌握したピサに、壮麗な大聖堂が建造された。

問5 下線部(オ)について、イギリス王リチャード1世が十字軍に参加した世紀の事柄とはいえないものはどれか。

- a 皇帝党(ギベリン)と教皇党(ゲルフ)の党争
- b ポルトガルの独立
- c ウィリアム＝オブ＝オッカムの唯名論
- d テンプル騎士団の結成



問6 下線部(カ)に関するAとBの文について、この時期の説明として正誤の正しい組み合わせはどれか。

A 教皇はモンゴル勢力との提携を企図し、プラノ＝カルピニらを派遣した。

B 数十年にわたり、複数の教皇がそれぞれ正統性を主張して並び立った。

a A＝正 B＝正      b A＝正 B＝誤      c A＝誤 B＝正

d A＝誤 B＝誤

問7 下線部(キ)について、中世末期から近世初頭にかけて活躍した宗教改革者とその関連事項を組み合わせたものとして、誤っているものはどれか。

a ウィクリフー聖書の英訳      b フスープラハ大学

c ルターー「人は信仰によってのみ義とされる」

d カルヴァンーチューリヒ

問8 下線部(ク)について、14～15世紀における各地の国家形成の説明として正しいものはどれか。

a 14世紀後半、デンマークを中心に北欧三国が同君連合を成立させ、さらに同時期、ウラル系民族フィン人を征服した。

b 14世紀、リトアニアとボヘミアは周辺諸国に対抗するため連合してヤゲウォ(ヤゲロー)朝を創始し、15世紀には強大化した。

c 15世紀にタタール(モンゴル)の支配から脱したモスクワ大公国は、「ツァーリ」の称号を初めて用いたイヴァン3世のもとで帝国の基礎を築いた。

d スイス諸邦は13世紀末以降、ドイツ諸侯からの離脱を求めて独立闘争を開始し、15世紀初頭に勝利して1555年に国際的に独立が承認された。

4 次の文章を読んで後の問(1～16)に答えなさい。解答は選択肢(a～e)から、最も適切なものを1つ選びなさい。

キューバは、コロンブスの第1回航海の際に「発見」され、1511年にスペイン人により征服された。<sup>(ア)</sup>この地はスペインの植民地となったわけであるが、18世紀末まではメキシコやペルーなど大陸部植民地と本国との間の貿易の中継地として以外、大きな地位を占めることはなかった。

大きな変化が起こったのは、隣のフランス領サン＝ドマングでの奴隷反乱を契機にしてのことであった。サン＝ドマングでは従来、砂糖産業が盛んであったが、奴隷による反乱はそれを壊滅させたのであった。また、北米のイギリス領13植民地が独立したことは、<sup>(イ)</sup>キューバにとってアメリカ合衆国という新たな貿易相手が登場したことを意味するものでもあった。こうしたことから、キューバでは砂糖産業が勃興し、1860年代には世界最大の砂糖生産地となるに至った。

スペイン人到来前のキューバ島には、いくつかの先住民族が暮らしていたが、彼らはスペイン人による虐待や旧大陸由来の疾病により、100年ほどの間にほとんどが絶滅してしまった。<sup>(ウ)</sup>このことから、19世紀にキューバで興隆した砂糖産業は、その労働力としてサン＝ドマングなどと同じく黒人奴隷を使役する形態をとった。<sup>(エ)</sup>このような形態は、広大なサトウキビ畑の中に製糖工場を配したもので( A )と呼ばれる。19世紀半ばから鉄道や蒸気機関の導入により生産性は大きく向上したが、これにより進んだ集中化にともない、同世紀末にはキューバ砂糖産業へのアメリカ合衆国資本の進出も始まった。<sup>(オ)</sup>

他のラテンアメリカ諸国は、1820年代までにほとんど政治的独立を達成していたが、<sup>(カ)</sup>砂糖産業の興隆をみたキューバでは、1860年代末まで独立運動は起きなかった。このときの運動(「第1次独立戦争」)は、およそ10年にわたる戦乱の後、反乱軍側の内部分裂などから潰えたが、1895年に第2次独立戦争が始まった。<sup>(キ)</sup>アメリカ合衆国はキューバに関し、砂糖産業を中心に大きな経済的利害を持っていたほか、カリブ海の要衝に当たるその地理的位置からも重大な関心を寄せ、1898年4月、( B )港における米軍艦メイン号の爆沈事件を口実に、キューバ独立派に与する形でスペインとの戦争を開始した。<sup>(ク)</sup>

アメリカ合衆国の圧倒的な軍事力を背景に、戦争はほどなく終結し、同年12月には講和条約が結ばれた。その結果として、キューバはスペインの支配から離れ、独立するまでアメリカ合衆国の軍事占領下におかれることになった。およそ3年半後の1902年にキューバは正式に独立国となったが、それはアメリカ合衆国<sup>(ク)</sup>の保護国としての独立であった。このように軍事力を背景にカリブ海を「裏庭」化したアメリカ合衆国の外交政策は、象徴的に「棍棒外交」<sup>(コ)</sup>と称されることとなった。

こうしてアメリカ合衆国の圧倒的な影響の下、砂糖に依存するモノカルチャー経済であったキューバは、1929年に始まった世界恐慌<sup>(サ)</sup>で大きな打撃を受けた。経済危機や社会不安が起これ、短期的ながら民族主義的な政権が誕生するなど、国内が騒然となった。こうした流れの中、アメリカ合衆国政府はプラット条項<sup>(シ)</sup>の廃止を内容として含む新条約を1934年キューバとの間に結び、当時キューバ軍の実力者であった( C )を通じて間接的に治安の回復と秩序の維持を図るようになった。また、互惠通商条約を結ぶとともに、砂糖輸入割当法を制定することによってキューバ産砂糖価格を安定化させ、それによって不況からの脱却を試みたが、これらの施策を通じて、キューバはより一層アメリカ合衆国に政治的・経済的に従属するところとなった。

こうした対米従属の深化を背景に、貧困が放置され、腐敗や汚職が蔓延していた( C )政権に対する闘争がキューバ革命にほかならない。1953年にカストロを指導者とした武装蜂起は失敗したが、その後メキシコでゲリラ戦の訓練<sup>(ス)</sup>を行うなど、反( C )闘争の準備を進めた。1956年に再びキューバに入ったカストロらは、山岳地帯を中心にゲリラ闘争を進め、次第に首都( B )を脅かしていった。( C )大統領は、徐々に拡大しつつあった反政府運動を激しく弾圧したため、国内で孤立を深め、またアメリカ合衆国も武器援助を停止するなど八方ふさがりに陥った。1959年元旦、カストロ率いる革命軍は( B )に入城、キューバ革命が成立するに至った。

カストロの目指すところは、当初は民族主義的な改良主義、すなわちキューバに対する外国の影響力を弱めつつ、漸進的な社会改革を図ろうとするものであった。しかし、革命政権が農地改革や米国系企業資産の国有化に着手すると、アメ<sup>(セ)</sup>

リカ合衆国はキューバと断交、武力侵攻を試みたほか、経済的圧力を強めていった。これに対し首相となっていたカストロはソ連に接近し、キューバの社会主義宣言を行った。このようにカリブ海に浮かぶ小国であるキューバは、「冷戦」構造の中、米ソ両大国の間で翻弄されていくことになったのである。

問1 空欄(A～C)に入る語はどれか。

- A a プランテーション    b エンコミエンダ    c アシエンダ  
d アシエント            e ラティフンディウム
- B a サンサルバドル    b サンティアゴ    c サンファン  
d ハバナ                e ポルトープランス
- C a ヴァルガス    b カルデナス    c ディアス  
d バティスタ    e ペロン

問2 下線部(ア)の出身地は現在のどの国にあるか。

- a ポルトガル    b スペイン    c マルタ    d フランス  
e イタリア

問3 下線部(イ)の説明として誤っているものはどれか。

- a 独立前の13植民地は、イギリス議会を擬した議会をそれぞれ独自に有していた。
- b 独立宣言は1776年7月4日に第2回大陸会議で採択された。
- c 大陸会議の後身である連合会議は1777年に起草された「アメリカ連合規約」により中央政府の役割を与えられ、アメリカ合衆国の主権を掌握した。
- d 13植民地の独立は1783年パリ条約で正式に認められた。
- e 13植民地の独立には、フランス、スペイン、ロシアなどの軍事的・外交的行動も間接的に大きな役割を果たした。

問4 下線部(ウ)について、先住民に対する虐待の実態をスペイン国王に訴え、その権利擁護に努めた人物は誰か。

- a バルトロメウ＝ディアス      b カブラル      c バルボア
- d コルテス                              e ラス＝カサス

問5 下線部(エ)の説明として誤っているものはどれか。

- a 黒人奴隷貿易は、当初はポルトガルやスペインを主力として行われていたが、18世紀にはイギリスが中心的な担い手となった。
- b 黒人奴隷は、現在のアメリカ合衆国南部に運ばれた者が多数派を占めていた。
- c アフリカ西岸から南北アメリカ大陸およびカリブ地域への奴隷輸送は、同地域からヨーロッパへの砂糖・綿花の輸送とともに、いわゆる「三角貿易」の一部を成していた。
- d アフリカ大陸ではダホメ王国などが武器弾薬と引き換えにヨーロッパ人に奴隷を「輸出」したが、青壮年人口が激減したアフリカにとっては大きな経済的・社会的打撃となった。
- e 19世紀に入ると奴隷貿易は徐々に廃止されていったが、同世紀半ばまでは密貿易が絶えなかった。

問6 下線部(オ)に関連して、それを利用した地下水くみ上げポンプを世界で初めて実用化した人物は誰か。

- a アークライト      b カートライト      c ニューコメン
- d ワット                              e スティーヴンソン

問7 下線部(カ)に当てはまらないのはどれか。

- a アルゼンチン      b チリ      c ブラジル      d メキシコ
- e パナマ

問8 下線部(キ)を指導した詩人でもある人物は誰か。

- a イダルゴ                      b サン＝マルティン              c シモン＝ポリバル
- d ホセ＝マルティ              e ホセ＝リサール

問9 下線部(ク)の説明として誤っているものはどれか。

- a この戦争では、キューバから遠く離れたマニラも戦場となった。
- b この戦争の結果、フィリピンは有償でアメリカ合衆国に割譲された。
- c この戦争の結果、グアムもアメリカ合衆国領となった。
- d この戦争の結果、プエルトリコもアメリカ合衆国領となった。
- e この戦争の結果、マリアナ諸島もアメリカ合衆国領となった。

問10 下線部(ケ)の説明として誤っているものはどれか。

- a アメリカ合衆国は、同国議会で可決された「プラット条項」をキューバ憲法に盛り込ませ、保護国化の法的根拠とした。
- b アメリカ合衆国は、キューバに軍事介入することができることになった。
- c アメリカ合衆国は、キューバ国内に海軍基地を設置できることになった。
- d アメリカ合衆国は、キューバの外交権を制約した。
- e アメリカ合衆国は、保護国化をキューバ併合の足掛かりにしようとした。

問11 下線部(コ)はあるアメリカ合衆国大統領が口にした格言に由来するといわれている。その大統領は誰か。

- a ウッドロー＝ウイルソン              b クーリッジ              c タフト
- d ハーディング                              e セオドア＝ローズヴェルト

問12 下線部(サ)の説明として誤っているものはどれか。

- a ニューヨーク株式市場で1929年10月24日に株価が暴落したことが発端である。
- b 1920年代に過剰な投資が行われ、購買力に見合わないほど大量の生産が行われたことが原因とされている。
- c その影響はソ連を除くほぼすべての国々に波及した。
- d 恐慌勃発当初は深刻に捉えられず、アメリカ合衆国政府も1933年ごろまで積極的な対策を取らなかった。
- e イギリスの経済学者ケインズが著した『雇用・利子および貨幣の一般理論』に基づきニューディール政策が開始された。

問13 下線部(シ)と同じ年に起こった事象はどれか。

- a ヒトラーのドイツ首相就任      b ソ連の国際連盟加入
- c イタリアのエチオピア侵攻      d スペイン内戦勃発
- e 満州国建国宣言

問14 下線部(ス)について、カストロはこのときゲバラと出会ったが、ゲバラが生まれた国と死亡した国の組み合わせとして適切なものはどれか。

- a アルゼンチン・ボリビア      b アルゼンチン・キューバ
- c キューバ・キューバ      d キューバ・ボリビア
- e キューバ・ソ連

問15 下線部(セ)を通告したアメリカ合衆国大統領は誰か。

- a アイゼンハワー      b ジョンソン      c ケネディ
- d トルーマン      e ニクソン

問16 下線部( )の説明として誤っているものはどれか。

- a フランスは西側陣営の一員であったが、ド=ゴールの指導の下、核兵器の保有や中国承認など、独自路線を追求するようになった。
- b スターリンの死後、フルシチョフが政権に就くと、米国との平和共存の機運が生まれたが、この機運は「緊張緩和(デタント)」と呼ばれた。
- c チェコスロバキアでは1968年、改革派のドブチェクが書記長に就任し、共産党指導下で民主化を進めたが、これは「プラハの春」と呼ばれた。
- d 1985年にソ連共産党書記長の座に就いたゴルバチョフは、言論の自由化、報道の自由化、検閲廃止などを断行したが、この政策は「グラスノスチ」と呼ばれた。
- e 「冷戦」終結の宣言は、1989年に米国のブッシュ(父)大統領とソ連のゴルバチョフ書記長がマルタ島で会談したときになされた。









